

This town is convenient.  
So good!  
It's Kyotanabe.

健康



安全・安心



文化・教育



田園都市



緑

文化の薫る

品格ある都市へ

平成30年度  
施政方針



2月20日、第1回市議会定例会で、石井市長が平成30年度の施政方針を発表。これまで進めてきた施策が大きく育ち実を結ぶように、5つのキーワードに沿った施策を、皆さんの目に見える確かなものにする決意を述べました。

成熟したまちへ向かって  
成果が見える施策に

平成30年度は、目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」へ向け、①安全・安心②緑③健康④文化・教育⑤田園都市の5つをキーワードに策定した「まちづくりプラン」を実現することで、成熟したまちに向かって新たにスタートする年にします。

自然の豊かさ・交通の便の良さという本市の魅力に磨きをかけ、まちの特性を生かしたコンパクトシティの構築を進めるため、同プランに掲げる施策を、皆さんの目に見える確かなものにしします。

魅力ある都市基盤の整備

新名神高速道路の開通や北陸新幹線の新駅設置決定、山手幹線の全線開通など、明るい未来への発展要素を最大限に生かし、北部・中部・南部の拠点周辺の整備をさらに進めるとともに、田辺中央北側の新市街地整備や新田辺駅東側の市街地再整備など、未来への投資を積極的に進めます。

次代を担う人材育成

幼保連携型認定こども園の整備など、子育て環境のさらなる充実を図り、引き続き「子育てしやすいまちナンバーワン」を目指した取り組みを進めます。

を進めます。

活力とにぎわいづくり

高速道路周辺や学研都市で企業立地の受け皿を整備し、地域産業の活性化や雇用創出を図るほか、大きなスポーツイベントを地域資源と結びつけることで、地域活性化につなげます。

夢ある京田辺の未来へ  
新たなスタート

これまで、安全・安心と子育て支援を大きな柱として市政を推進してきました。その結果、全国的に人口減少を迎えた現在でも、人口が増加する都市へと発展してきました。また、徹底した現地現場主義によるきめ細かな市民サービスの提供により、市民満足度調査でも「おおむね満足」との評価をいただきました。市制施行から20年が経過し、平成30年を新たなステージに向けたスタートの年と位置付け、夢ある京田辺の未来をさらに大きく膨らませ、大学のあるまち、学研都市のまちとして、活力に満ちあふれ、文化の薫る品格ある都市へと導いてまいります。

施政方針の全文は、ホームページ（QRコード）に掲載しています。



今年度の主な事業は 2-5 面 **予算特集**

5つのキーワードに沿った未来への投資予算

4月8日(日)は **京都府知事選挙** の投票日

午前7時～午後8時 必ず投票しましょう

選挙管理委員会  
(総務室内、☎64-1337)

